## 第5次茅野市総合計画・前期事務事業評価シート(主要事務事業用) 【一般会計】 整理番号 06020304 事務事業名 空家等対策事業 事業期間 2013 年度 係内番号 04 担当部署 都市建設部 住宅建築係 連絡先 539 都市計画課 施策の 基 項日 計画CD 計画名称 施策の柱の名称 柱CD 実行計画 政 の施策の #N/A 基本計画① 01 都市計画マスタープラン 策 計 05 柱におけ 高 番 画 #N/A 基本計画② 01 都市計画マスタープラン る指標と 号 体 の関連度 計 実行計画 09 空家等対策計画 0000 複数の柱にまたがる事業 系 会計コード 01 款 08 項 04 目 02 事業 03 予 算 事 業 名 空家等対策事業 空家調査により把握した物件について、その所有者等に適切な維持管理を促し対応が必要な場合は改善していただくよう 働きかける。また空家の有効活用が進むよう、空家パンクへの登録や空き家住宅改修事業の活用を図ります。さらに空き 事、務 事 業 の 概 要 家の発生抑制のための啓発を行う。 圕 人口減少や既存の住宅・建築物の老朽化、社会のニーズや産業構造の変化に伴い、空家等が年々増加している。空家等の中には適切な管理がされず、建物の安全性の低下、衛生面の悪化、景観の阻害等、地域住民の生活環境に深刻な影響を及現状と背景(どうして)。 (どうして)。 ら施行され、市町村は空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するよう努めることとされた。 受 益 者 空家等の所有者、市民 (誰のために) 目 対 市内にある住宅・建築物の所有者 象 対 象 Р (直接働きかける) 空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響をおよぼすことがないよう,適切な維持管理がされ、さ 的 図らには利活用される状態としたい。 (どんな状態にしたいか) ・所有者・管理者を把握し、利用や管理についての意向調査を行うとともに適切な維持管理の啓発を行う。 ・特に危険性の高い物件について、特定空家認定による行政代執行も視野に入れて優先的に対応する。 ・ 楽園信州ちの空家パンクや県・全国の空き家パンクを活用し、物件の有効活用を促進する。 ・ 茅野不動産業協同組合はじめ各種団体と協働した空き家相談を実施する。 т (どうやって) Α 行政が活動することで作り出すもの指 標 名 称 単 位 算出方法・計算式・目標値設定の考え方など 最終目標値 1 区長宛文書による回覧 年間情報発信回数 年間の実施目標値を設定 2 活 動 2 空家住宅改修の実施 年間の実施目標値を設定 10 件 年間改修実施件数 指 評 3 危険性の高い物件の解消 Ν 1 危険解消物件件数 件 年間の実施目標値を設定 標 価 指 変更 標 履歴 の 算出方法・計算式・目標値設定の考え方など 最終目標値 標名 単 位 成果・効果は何? 称 作 成 成 1 空家等の適切な維持管理がされている 維持管理対応件数 件 年間の実施目標値を設定 果

事業費等(a) 円 139,906 367,945 774,000   財 国庫支出金円 円   場下 中 円   地方債円 円   その他特定財源円 日標準度 1   実績 日間後来信回数 1 1   年間情報発信回数 1 1   年間改修実施件数 実績 件 10 10 10   作機解消物件件数 1 1 1   た険解消物件件数 1 1 1 1   成果 指標 1 1 1 1   企家活用件数 2 4 5 5 5   1 1 1 1 1   2 2 2 2 2   2 2 2 2 2   4 1 1 1 1   1 1 1 1 1 1   2 2 2 2 2 2   4 1 1 1 1 1   1 1 1 1 1 1   2 2 2 2 2 2   4 1 1 1 1 1   5 5 5 5 5	Ž.		-	単位	2040年度(1120)	2040左座	2020年度	2024年度	2022年座
財 国庫支出金 円   県支出金 円   地方 債 円   その他特定財源 円 139,906   日標 実績 実績 円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		垻	Н	甲亚	2018年及(円30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年及
源 県 支 出 金 円   地 方 債 円 円   その他特定財源 円 139,906 367,945 774,000   活動指標 年間情報発信回数 目標 2 2 2 2   海間被修実施件数 目標 1 1 1   連成率 96 70.00 120.00 - - -   危険解消物件件数 目標 1 1 1 1   直成率 96 100.00 100.00 - - - -   成果指標 年 10 10 10 10 10   連成率 96 60.00 100.00 - - - -   企家活用件数 年 5 5 5 5 5   達成率 96 140.00 240.00 - - - - -					139, 906	367, 945	774, 000		
原 文 出 金 円 地 方 債 円 での 他 特 定 財 源 円 139,906 367,945 774,000 日標 定 財 源 円 139,906 367,945 774,000 日標 実績 回 第 1 日標 実績 中 1 日標 中 1 日標 定成率 96 70.00 120.00 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	財								
内   その他特定財源   円   139,906   367,945   774,000     までは、中間情報発信回数   自標 実績 空域率 %   139,906   367,945   774,000     活動指標   年間で修実施件数   目標 保									
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本									
年間情報発信回数 目標 実績 回 定成率 % 50.00 50.00									
年間情報発信回数 実績 日標定成率 96 50.00 50.00 - - - - -   中間改修実施件数 目標 件 字積 件 目標 件 字積 件 目標 件 目標 体 目標 字成率 10 10 10 - <	訳	一般財		円					
本間情報発信回数   実績   一					2	2	2		
店動指標 目標 失績 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1		年間情報発信回数			1	1			
動指標 年間改修実施件数 字積 7 12   達成率 % 70.00 120.00 - - -   危険解消物件件数 目標 件 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	汪			%				-	
危険解消物件件数 目標 実績 件	動			件			10		
危険解消物件件数 目標 実績 件	指	年間改修実施件数							
危険解消物件件数 目標 実績 件	標			%	70. 00	120. 00	_	_	_
					1	1	1		
成 維持管理対応件数 目標		危険解消物件件数			1	1			
成 維持管理対応件数 実績 件 6 10   果 達成率 % 60.00 100.00 - - - -   指標 旦標 5 5 5   実績 7 12   達成率 % 140.00 240.00 - - - -				%				_	_
大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪			目標	<b>4</b> 生			10		
標 空家活用件数 実績 T 12   達成率 % 140.00 240.00 - - - -	J.J.C.	維持管理対応件数			•				
標 空家活用件数 実績 T 12   達成率 % 140.00 240.00 - - - -	果			%	60.00	100. 00	_	_	_
「	指			14-	5	5	5		
達成率   %   140.00   240.00   -   -   -	標	空家活用件数			•				
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			達成率	%	140. 00	240.00	_	_	_
	備								

空家活用件数

件

年間の実施目標値を設定

5

2 空家等の活用がされている

指

標 変更 履歴

事務事業名 空家等対策事業		事業期間	2013	~	年度	係内番号	04
担 当 部 署 都市建設部	都市計画課	住宅建築係	Ķ.			連絡先	539

	項目	1	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事後評	( 変 動 要 因		・要望が寄せられた案件について適切な維持管理通知を発送し、樹木伐採につながったケースが1件あった。その他については効果を検証していない。・空き家住宅改修補助制度の活用が7件あり、空き家パンクの成果と連動。制度が市民に認知されてきている。	・特定空家等に認定した1件について空き家解体に利用できる住宅ローンを紹介したところ、解体・樹木伐採につながり対応が完了した。・・リフォーム補助金の空き家加算の利用が12件あった。(旧空き家住宅改修補助制度含む)制度が認知されることによって空き家の利活用の一助となった。			
	し <sub>材</sub>	Я					
価 (		成果	空家等対策計画策定後、通 リー遍の事業実施に留まっ ており、全体的に対策が進 んでいるか把握できていな い。計画策定後初の協議会 を開催し、今後の方針を確 認した。	空家等対策協議会、相談部 会の活動である空き家なん でも相談会を開催。活動を 市民に周知し空き家問題の 解決、発生抑制につなげ る。			
с н	総合		****				
ш	評価	課	・茅野市全体の空き家状況 (発生予想も含む)と対応状況の見える化 ・危険度Dの空き家の早急 な解消 ・空き家の適切な維持管理、発生抑制、利活用啓発	・茅野市全体の空き家状況 (発生予想も含む)と対応状況の見える化 ・危険度Dの空き家の解消 モデルケースの作成。 ・空き家の適切な維持管理、発生抑制、利活用啓発			
<b>к</b>		題		- COLPANY 1970/11 0 70			
改革	翌々年度	成果	拡充	拡充			
•	方向 性	コスト	拡大	拡大			
改善の方向	<b>革</b>	果やコスト	・空き家の現状・予想と対化 (マッピング)・D見を備と見える化 (マッピング)・Dランク空き家の特定空音家の特定で でではるのでは、 ・実効的な構築 ・実効的な構築 ・民間専門団体と協働した ・民間専門団体と協働した ・民間専用団体と協働を一 相談員報酬等の増 ・空き家相談をベースにした 維持管理、利活用の促進	・空き家の現状・予想と対化 状況のDB整備と見える化 (マッピング) ・Dランク空き家の特定空後 原位付り為の点数化。 ・実効的な空き家対策協働した。 ・実間専門団体と協働した空き家相談研制の構築→ 相談員報酬等の増 ・空き家相談を一人にした 維持管理、利活用の促進			
性(A	改	の方向性	・空き家発生抑制啓発対策 の実施→広報宣伝費用の 増 ・以上に即した指標の再設 定	・空き家発生抑制啓発対策 の実施→広報宣伝費用の 増 ・以上に即した指標の再設 定			
C T	養災び	の 内 容					
	成担当		両角 達郎	竹村 暁			
	評価責任		岩崎 研二	岩崎 研二			
最終	評価年	月日	2019.5.17	2020.7.1			